2026年12月期
第３四半期
決算説明資料

株式会社すかいらーくホールディングス

2026年11月12日

第３四半期決算概要

Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

決算サマリー

- **売上高 3,704億円（+9.0%）、事業利益 267億円（+5.3%）**
  営業利益 264億円（+10.5%）、四半期利益160億円（+16.5%）

単位：億円

	2026年 Q3累計		2025年 Q3累計		前年比	
	実績	売上比	実績	売上比	増減額	増減率
売上高	**3,704**	**100.0%**	**3,396**	**100.0%**	**307**	**+9.0%**
売上総利益	**2,463**	**66.5%**	**2,272**	**66.9%**	**191**	**+8.4%**
事業利益	**267**	**7.2%**	**254**	**7.5%**	**13**	**+5.3%**
営業利益	**264**	**7.1%**	**239**	**7.0%**	**25**	**+10.5%**
税引前利益	**229**	**6.2%**	**212**	**6.2%**	**16**	**+7.8%**
四半期利益	**160**	**4.3%**	**137**	**4.0%**	**23**	**+16.5%**
調整後EBITDA	687	18.6%	644	18.9%	44	+6.8%
ROE	10.0%	-	9.8%	-	0.2%	-

2026年 Q3累計 実績			
既存店 売上高前年比	105.8%	**新規出店数**	41店
既存店 客数前年比	101.1%	**業態転換店舗数**	42店
既存店 客単価前年比	104.6%	**店舗改装店舗数**	159店

＊ 調整後EBITDA=EBITDA+固定資産除却損+非金融資産の減損損失及び戻入れ+株式発行関連費
＊ ROE=LTM（直近12か月の実績）で算出
＊ 既存店前年比は国内のみ対象　※ 店舗数は国内外合計

Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

損益計算書

・売上高は前年同期比+9.0%（+307億円）の3,704億円
・増収効果により、事業利益は267億円（+5.3%）

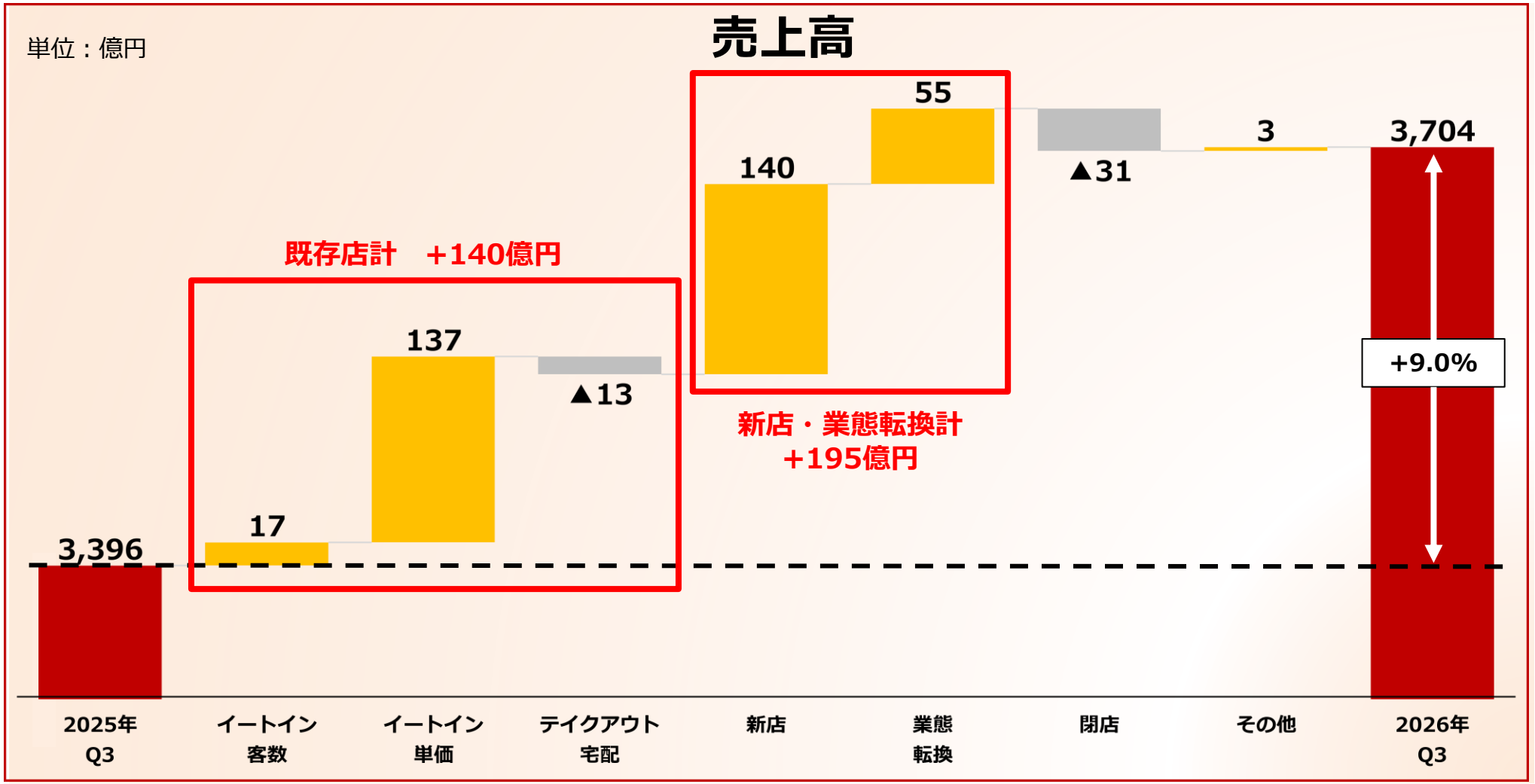
単位：億円

	2026年 Q3累計		2025年 Q3累計		前年比	
	実績	売上比	実績	売上比	増減額	増減率
売上高	**3,704**	**100.0%**	**3,396**	**100.0%**	**307**	**+9.0%**
売上原価	▲1,240	33.5%	▲1,124	33.1%	116	+10.4%
売上総利益	**2,463**	**66.5%**	**2,272**	**66.9%**	**191**	**+8.4%**
人件費	▲1,186	32.0%	▲1,078	31.7%	107	+10.0%
その他販管費	▲1,011	27.3%	▲941	27.7%	70	+7.4%
事業利益	**267**	**7.2%**	**254**	**7.5%**	**13**	**+5.3%**
その他営業収益	17	0.5%	11	0.3%	5	+47.9%
その他営業費用	▲20	0.5%	▲26	0.8%	▲6	▲23.7%
営業利益	**264**	**7.1%**	**239**	**7.0%**	**25**	**+10.5%**
金融損益	▲35	0.9%	▲26	0.8%	9	+32.7%
税引前利益	229	6.2%	212	6.2%	16	+7.8%
法人所得税費用	▲69	1.9%	▲75	2.2%	▲6	▲8.3%
四半期利益	**160**	**4.3%**	**137**	**4.0%**	**23**	**+16.5%**
調整後EBITDA	687	18.6%	644	18.9%	44	+6.8%

Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

売上高増減分析

・国内既存店の持続的成長、および計画的な店舗展開により
前年同期比 +307億円（+9.0%）の増収



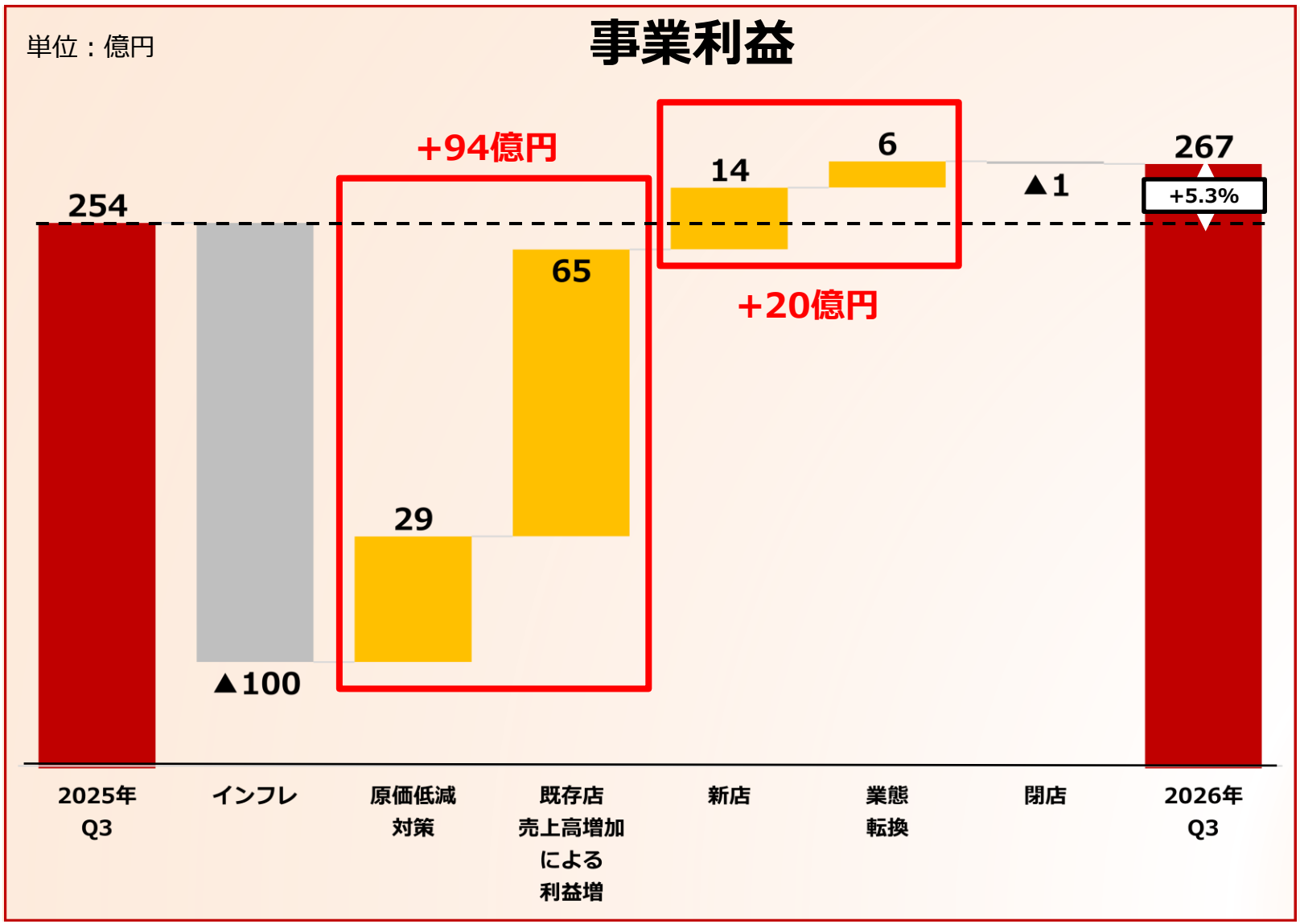
Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

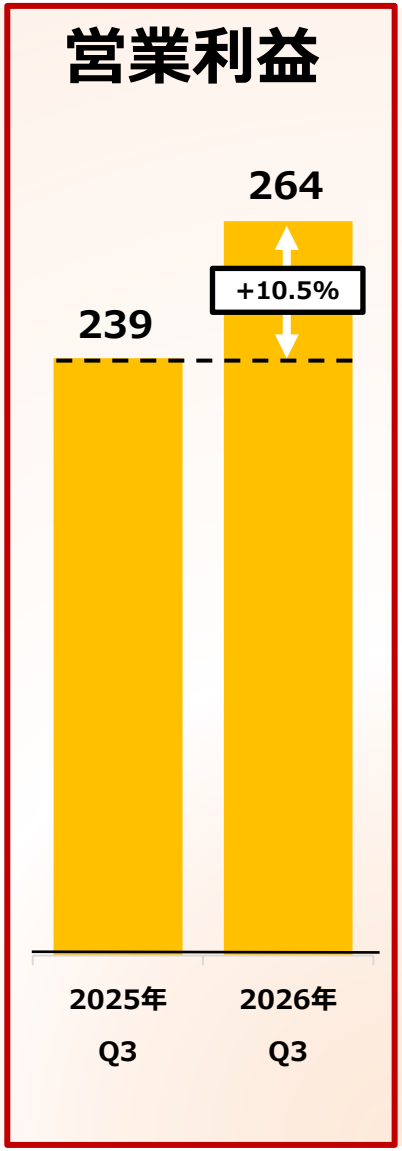
事業利益増減分析

・事業利益は前年比 +13億円（+5.3%）、営業利益は前年比 +25億円（+10.5%）

⇒インフレ100億円に対して、既存店成長・原価低減対策で94億円、新店・業態転換で20億円打ち返し

単位：億円





Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

貸借対照表・キャッシュフロー計算書

BS：有利子負債（長期）を増加させ資金調達安定化と金利上昇に対応
CF：積極的な投資実行後でも、フリーCF210億円を確保

貸借対照表（BS）

単位：億円	2026年 Q3	2025年 通期	前期末比
資産合計	5,775	5,185	589
流動資産	937	676	261
非流動資産	4,837	4,510	328
内、のれん	1,711	1,627	84
負債合計	3,794	3,310	484
流動負債	1,029	1,054	▲24
非流動負債	2,764	2,256	508
有利子負債	1,663	1,237	426
内、有利子負債(長期)	1,516	1,093	423
資本合計	1,981	1,876	105
親会社所有分	1,981	1,876	105

キャッシュフロー計算書（CF）

単位：億円	2026年 Q3累計	2025年 Q3累計	前年比
営業キャッシュフロー	548	531	17
投資キャッシュフロー	▲338	▲265	▲72
フリーキャッシュフロー	210	265	▲55
財務キャッシュフロー	56	▲231	287
借入金	143	▲37	180
社債	258	142	116
リース債務返済	▲284	▲280	▲3
配当金	▲54	▲43	▲11
その他	▲8	▲13	5
現金及び現金同等物の増減	262	35	227
現金及び現金同等物の期首残高	343	192	152
現金及び現金同等物の期末残高	606	227	379

Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

主要財務指標

・1株当たり当期利益（EPS)は83.60円に増加
・自己資本比率、ネットD/Eレシオは安定的に推移し財務健全性を確保

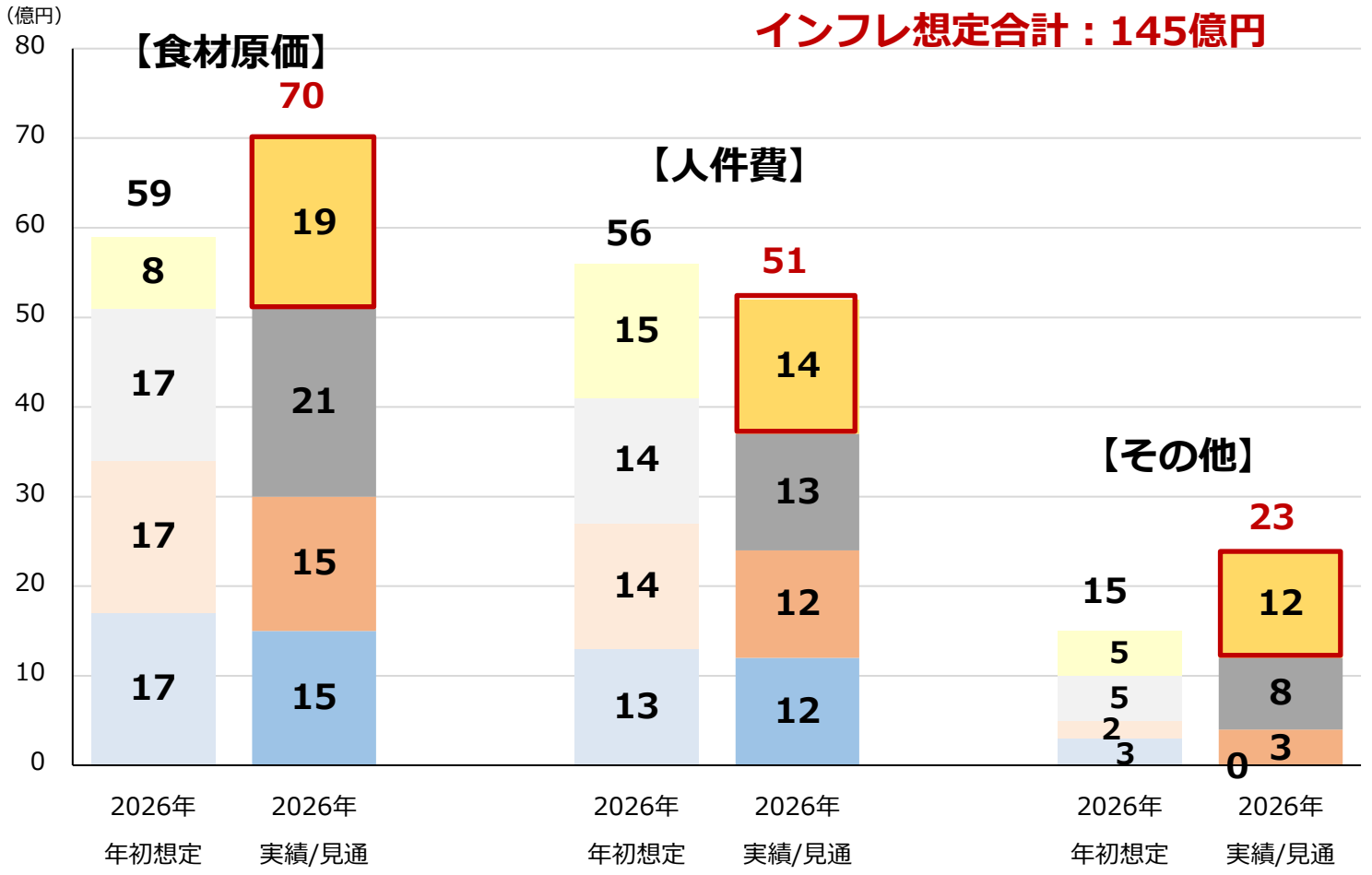
	2026年 Q3累計	【参考】 2025年 Q3累計	【参考】 2025年 通期
1株当たり当期利益(EPS)	83.60円	75.70円	73.62円
1株当たり純資産(BPS)	871.0円	805.4円	824.5円
自己資本比率	34.3%	36.9%	36.2%
ネットD/Eレシオ	0.54倍	0.52倍	0.48倍

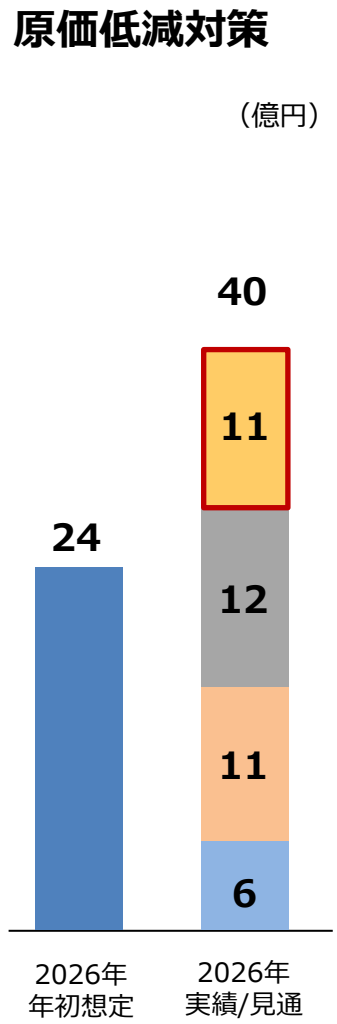
*EPS = 親会社の所有者に帰属する当期利益(LTM) / 期中平均発行済株式数
*BPS = 親会社の所有者に帰属する持分合計(期末) / 期末発行済株式数
*自己資本比率 = 親会社の所有者に帰属する持分合計(期末) / 資産合計(期末)
*ネットD/Eレシオ = (期末借入金 + 期末その他金融負債 − 期末現預金 − リース債務) / 資本合計(期末)

Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

2026年 インフレ想定／原価低減

・年間のインフレ想定額は145億円：修正ガイダンスから変更なし
・原価低減対策の効果は年間40億円：年初想定を上回る





Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

トピックス
（M&A案件ご説明）

Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

M&A案件概要

2026年11月12日取締役会にて、有限会社Shin-Shinの株式取得を決議

【会社概要】

名称	：有限会社 Shin-Shin
所在地	：福岡県福岡市
代表者	：代表取締役社長　中牟田　信一
設立年月日	：2004年4月27日

【株式譲渡】

株式譲渡実行日	：2026年11月30日を予定

Shin-Shinの特徴

創業者の中牟田 信一氏が博多の文化である『屋台』から発祥し開発した「博多純情らーめん」など多彩なメニューで“Shin-Shin”を展開

- 屋台文化に根差した独自性の高い幅広いメニュー
- 常連客と幅広いファン層の支持
- セントラルキッチン体制によるブレのない高い品質





オープン前の行列

Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

M&A案件の狙い

Shin-Shinを、“博多”から“日本全国”さらに“海外”へ！

Shin-Shinの事業展開にあたっては、中牟田氏による経営のもと、すかいらーくグループが全面支援してまいります。

【両社のシナジー】

1．全国・海外展開の加速

ブレのない味：創業の味と厳格なサービス水準を完全維持

海外へ積極展開：国内展開のみならず海外ネットワークをフル活用した出店

グローバルブランド化：博多発祥から世界で親しまれるブランドへ

国内外の出店ペースを飛躍的に向上

2．安定供給体制の確立

CK基盤拡充：Shin-Shinセントラルキッチン仕組みを当社MDCで展開

品質の均一化：多店舗・広域展開でも味を一切損なわない仕組み構築

供給網の強靭化：全国および海外へ向けた食材サプライチェーン

スケール拡大と味のクオリティを両立

3．屋台文化の新店舗展開

豊富な屋台メニュー：焼きらーめん、ちゃんぽん、皿うどん、串物・中華等

多世代アプローチ：老若男女問わず楽しめる店舗作り

体験価値向上：屋台情緒と食事の楽しさを融合した新型店舗モデル

ラーメン店とは異なる新たな食体験の創出

Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

新たなブランドポートフォリオ

すかいらーくブランドポートフォリオ



Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

M&Aの進捗

・グループインした会社は着実に成長しております

1．資さんうどん（2024年10月 グループイン）

・国内店舗数

- 転換を中心にグループイン時の74店から
  2026年9月末には121店へ拡大

・海外展開

- 今期、台湾において２店出店
- 今期中に計３店舗、中長期的に100店舗以上を目標

⇒ 東南アジアへの水平展開も検討中

2．しんぱち食堂（2026年4月 グループイン）

・すかいらーくグループ入り後、グループリソースを活用して
出店を加速化

- グループイン時：109店 ⇒ 2026年12月末：127店（予定）

⇒来年は更に出店を加速

・海外展開

- 今期、シンガポールで1店出店（来年は更に拡大予定）

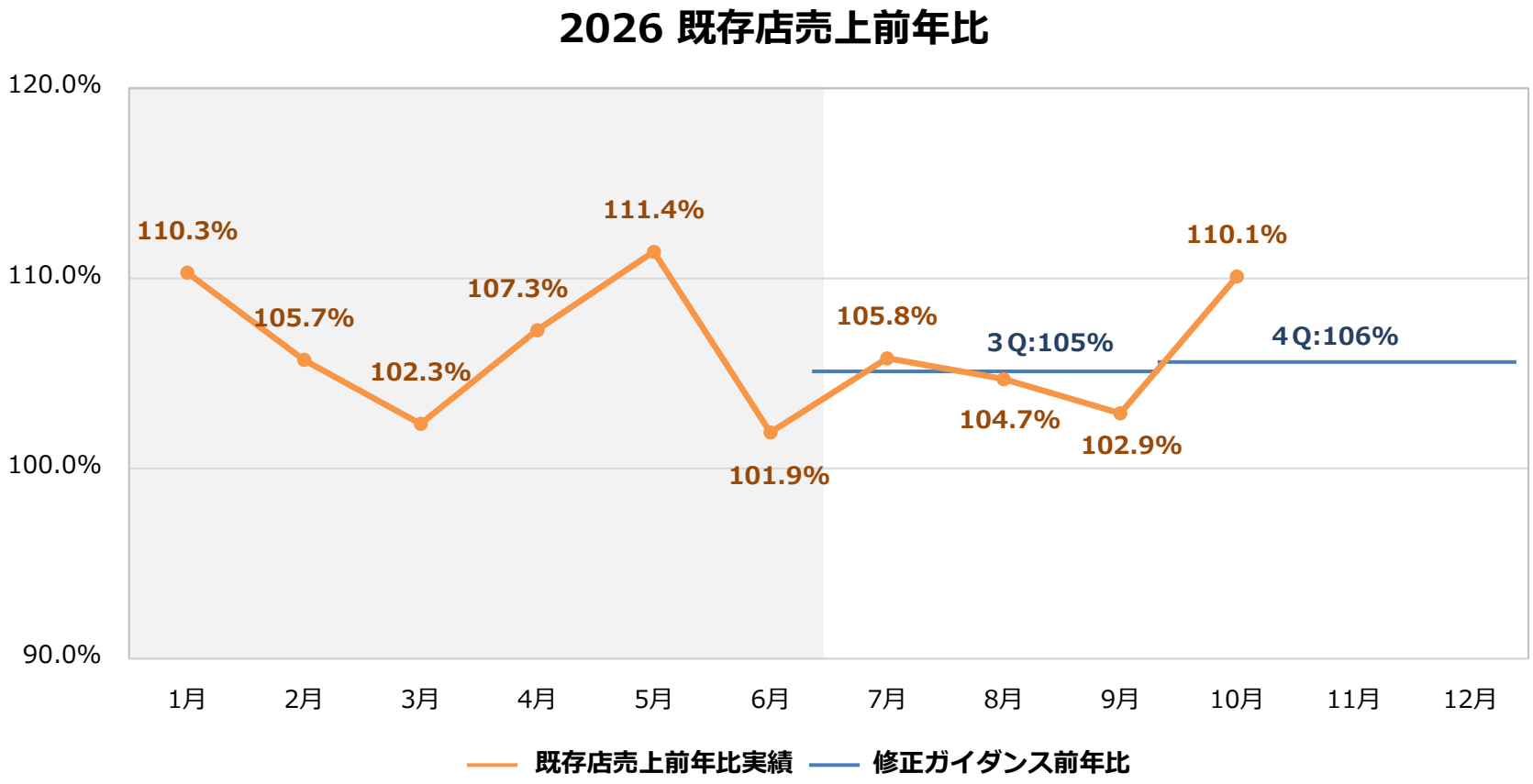
Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

2026年 第4四半期 施策

Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

既存店売上の推移

- **既存店売上前年比： 修正ガイダンスに対して順調に推移**
  2026年通期修正ガイダンス： 106.0%
  2026年１～10月累計実績： 106.2%
- **10月の既存店売上は、前年比110.1%と好調**



Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

コラボによる新たな顧客獲得

・Mrs. GREEN APPLEタイアップを中心に集客に大きく貢献

Caféレストラン ガスト

「Mrs. GREEN APPLE」タイアップ施策（10/22～12/2）：
高い話題性により新規客層の開拓・客数増を大きく牽引



11/12～ 第2弾

- 第2弾グッズ配付数の増加
- 待望の「青りんごムース」販売開始



しゃぶ葉 SYABU-YO

『ゴジラ-0.0』：高い話題性を獲得、新規・リピート来店を喚起



COFFEE & RESTAURANT ジョナサン
むさしの森珈琲
カフェ chawan

健康志向を狙い、竹脇まりな氏監修 「栄養バランスメニュー」を３ブランドで展開、女性を中心に客数増！



Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

フェアメニューの展開

毎年大人気の冬のフェアメニューをさらにブラッシュアップし、「一人外食」など多様なニーズに対応

Caféレストラン ガスト





“やまや”コラボ「博多もつ鍋」や人気スイーツ

- 女性層の獲得と客単価の向上
- 更に一人外食ニーズにも対応

しゃぶしゃぶ 葉っぱもたっぷり ブッフェ
しゃぶ葉
SYABU-YO



ラムしゃぶ麻辣湯フェア

- 若年・女性層の新規獲得
- 味わいを調整でき、ファミリー層にも対応

生本ずわい蟹／ブランド和牛

- 高付加価値商品の投入による客単価向上

夢庵（ゆめあん） Japanese Restaurant



秋の選べるせいろ御飯膳

- 男女シニア層をターゲット
- 選び方の幅を広げつつ客単価向上

CHINESE RESTAURANT バーミヤン



蟹あんかけチャーハンなど高付加価値商品を投入

- 客単価の向上
- 顧客層（女性・シニア層）の深耕

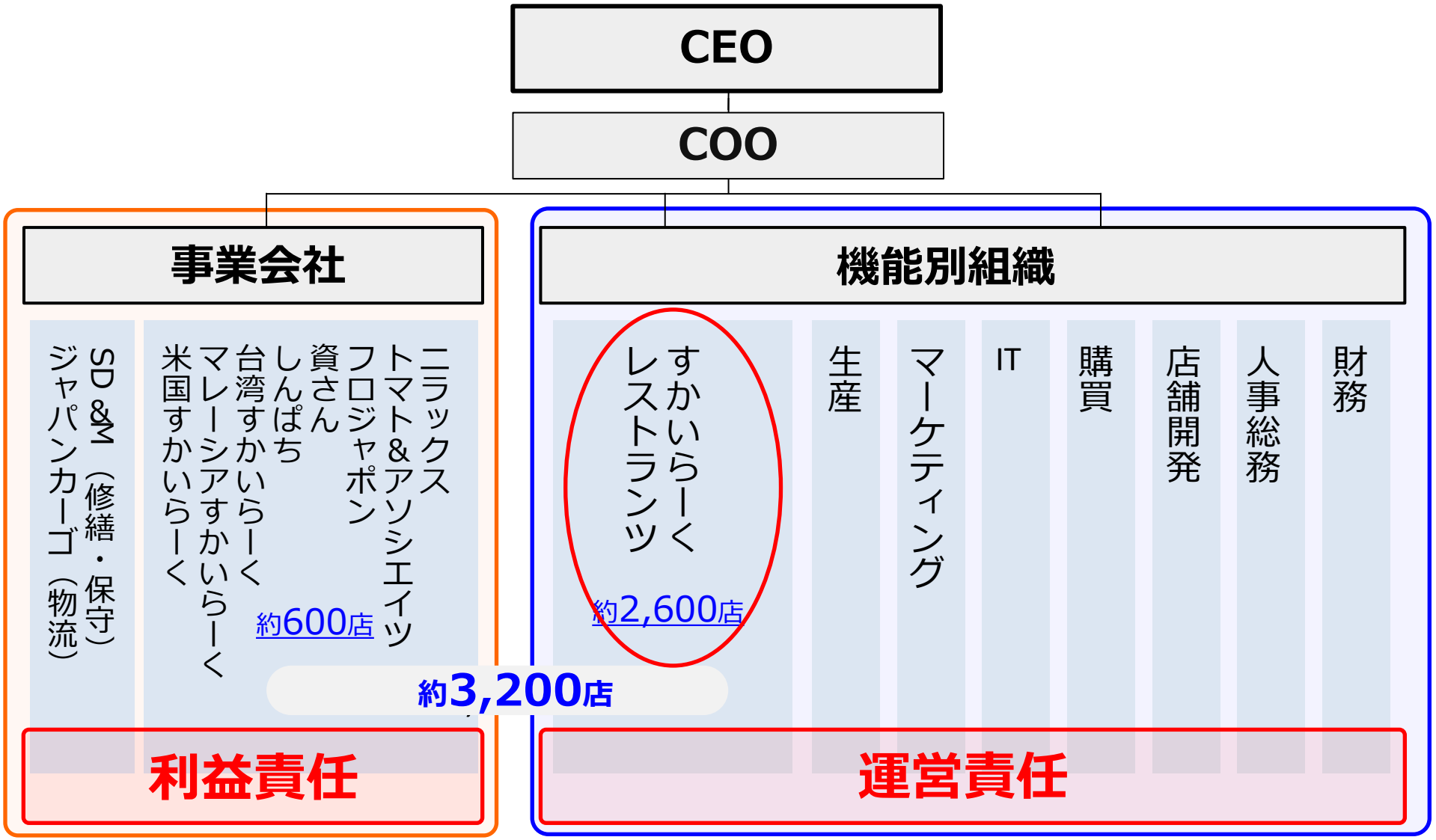
Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

Appendix

Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

旧経営体制

- 2,600店を擁するすかいらーくレストランツは、運営責任のみを担っている



Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

新経営体制

- すかいらーくレストランツ（2,600店）を事業会社化する
- 経営と執行体制を明確化

執行

事業会社

すかいらーくレストランツ

＋クループ各社

約3,200店

事業会社化

- ㈱すかいらーくファミリーダイニング　約1,400店
- ㈱すかいらーくカジュアルダイニング　約1,200店
- その他 10社　約600店

利益責任

経営

HD

財務/人事

グループ経営戦略

- 財務、海外
- M＆A、グループ人事戦略
- ガバナンス/リスク管理

機能別本部

品質と価格を最適化

最高の品質を最安値で提供し利益貢献

- IT、購買
- 店舗開発/建設
- 生産、物流

Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

新経営体制における事業会社



- グループ全事業会社は独立採算経営により、顧客価値の最大化と成長を目指す

すかいらーくグループ　事業会社（3,200店舗～）

国内

- ㈲Shin－Shin
- ㈱しんぱち
- ㈱資さん
- ㈱トマトアンドアソシエイツ
- ㈱フロジャポン
- ニラックス㈱

海外

- SKYLARK USA INCORPORATED
- Createries Consultancy SDN.BHD.
- SKYLARK MALAYSIA SDN. BHD.
- 雲雀国際股份有限公司

New 新会社

- ㈱すかいらーくカジュアルダイニング　代表取締役社長　崎田晴義
  - バーミヤン、しゃぶ葉、夢庵、むさしの森珈琲、ステーキガスト他、全13ブランド
- ㈱すかいらーくファミリーダイニング　代表取締役社長　佐藤拓男
  - ガスト、ジョナサン、chawan

M&A 海外

- M&A予定
- 海外進出

約600店　／　約2,600店　／　＋α

Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

Shin-Shinに関するM&A概要

対象会社の概要

名称	：有限会社 Shin-Shin
所在地	：福岡県福岡市中央区天神三丁目2番19号
代表者の役職・氏名	：代表取締役社長　中牟田　信一
事業内容	：飲食店の経営
資本金	：3百万円
設立年月日	：2004年4月27日
大株主及び持株比率	：中牟田　信一　100%

取得株式数等

異動前の所有株式数	：０株
取得株式数	：普通株式60株
異動後の取得株式数	：普通株式60株 （議決権の数：60個、議決権所有割合：100%）

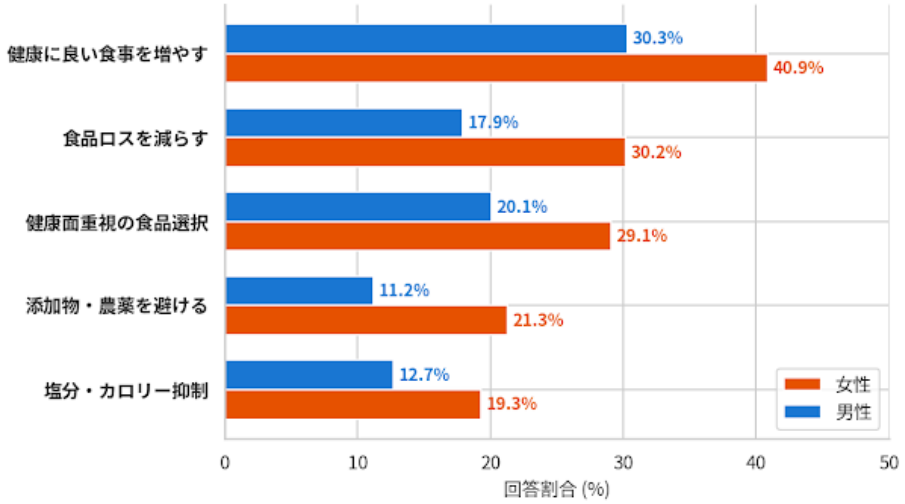
株式譲渡実行日　　：2026年11月30日（予定）

Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

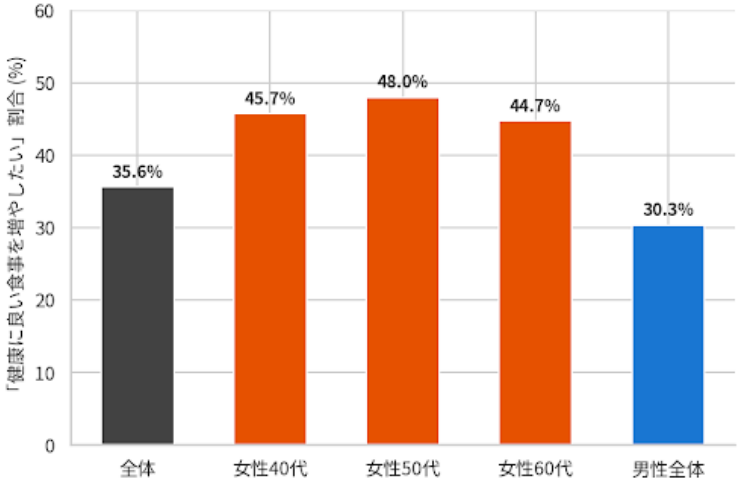
女性の「健康志向」「一人外食」の広がり

外食・食事動向分析：女性の「健康志向」と「一人外食」の広がり

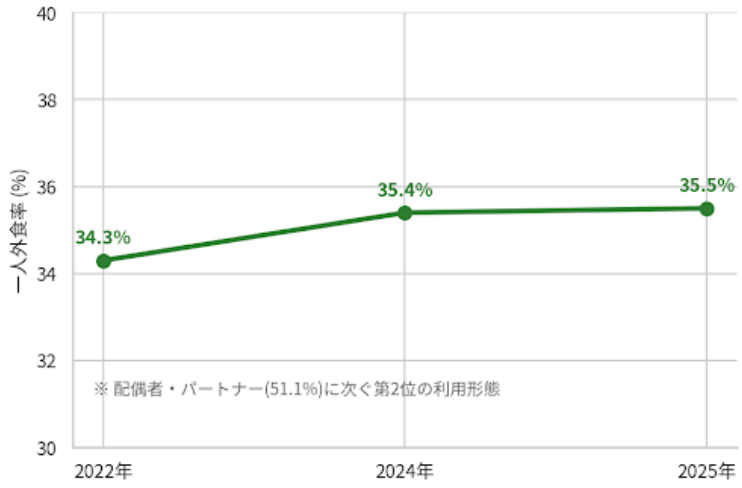
① 食事・食品選択における意識（女性 vs 男性）
— すべての項目で女性が男性を大きく上回る



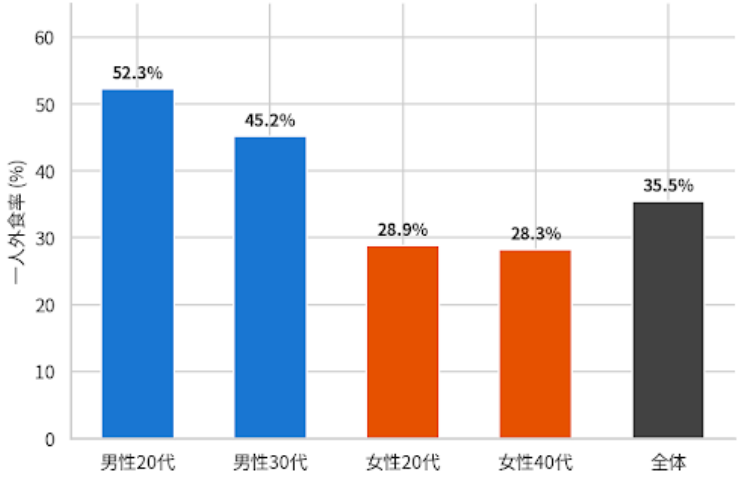
② 「健康に良い食事を増やしたい」年代別割合
— 中高年女性の約半数が健康志向



③ 「直近1年でひとりで行く」外食率の推移
— 35%超の高い水準で微増・定着化



④ 性年代別の一人外食率（2025年）
— 20代男性は過半数、女性も約3割が一人利用



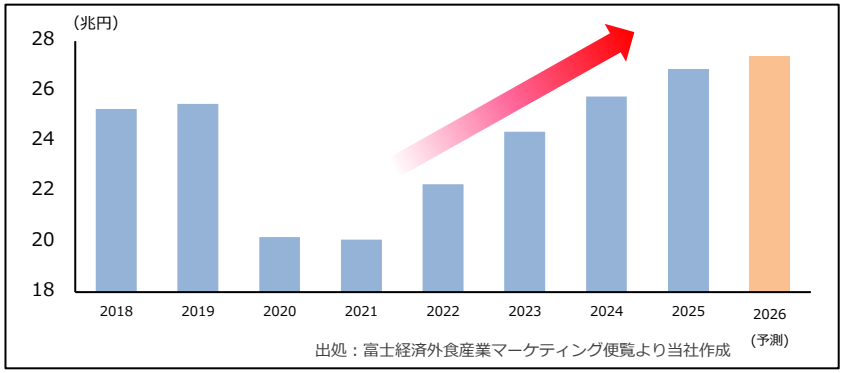
出典：『食に関する調査外食編.pdf』（Cross Marketing, 2025）、『2026外食産業便覧_v3.pdf』（富士経済）のデータを基に作成

Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

国内外食市場規模と成長余地

・共働きの増加などにより国内外食市場は伸長
・チェーン企業以外の飲食店の減少、マーケットシェアの拡大余地あり

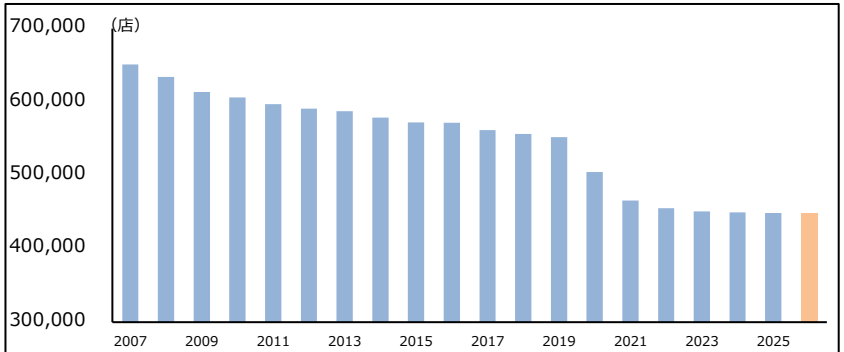
国内外食市場規模の推移



出処：富士経済外食産業マーケティング便覧より当社作成

2026年
外食市場規模は
27兆円と伸長

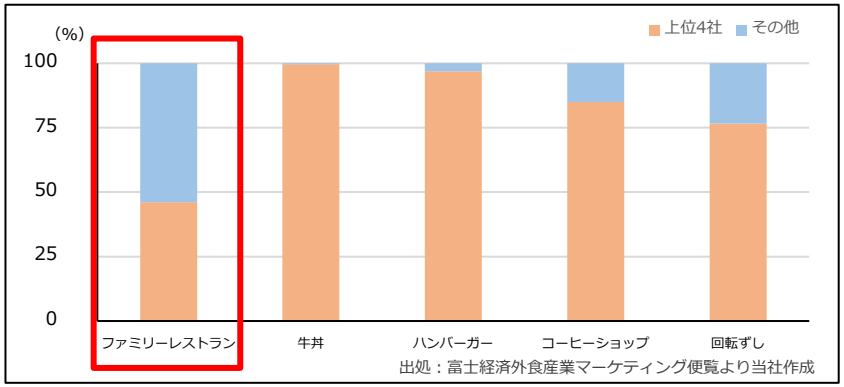
チェーン企業以外の飲食店数の推移



出典:野村証券データより当社作成

チェーン企業以外の飲食店は店舗数が減少傾向

各ジャンル上位4社のマーケットシェア



出処：富士経済外食産業マーケティング便覧より当社作成

ファミリーレストラン業界の寡占化はまだ進んでいない

高い成長の余地あり

Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

3．中期事業計画の進捗

・中期事業計画（2025年～2027年）に対して順調に進捗

項目	目標値	実績
1. 既存店成長（国内）	既存店売上成長 **年平均 3～4%**	**2026年３Q累計実績 105.8 %** （客数: 101.1% / 客単価: 104.6%）
2. 新規出店（国内）	3年間 **約300店**	**直近出店実績 271 店** 既存 ：88店　ガスト18、しゃぶ葉28、資さんうどん9、しんぱち食堂９、その他24 M&A：183店　資さんうどん74、しんぱち食堂109
3．海外展開	3年間 **約100店**	**実績 43 店** 台湾　：既存ブランド 19店 マレーシア　：既存ブランド 10店 /M&A 13店 シンガポール：既存ブランド　1店
4．M&A戦略	3年間 **3～5件程度**	**実績 4 件獲得** （資さんうどん・すき屋・しんぱち食堂・Shin-Shin）

Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

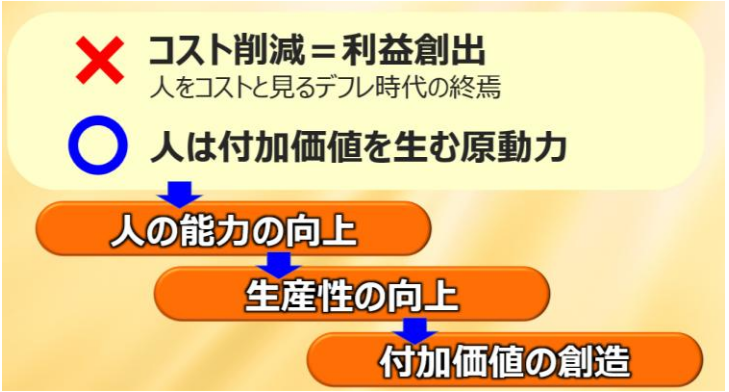
店舗中心経営

・「店舗中心経営」を推進し、経営の好循環を実現

経営の好循環



「店舗中心経営」のコンセプト



「店舗中心経営」の具体的な取り組み

マネジャー経営力の醸成

1. マネジャー評価制度を変更
2. マネジャー等級制度を変更
3. 業績インセンティブ制度導入
4. マネジャーのクルー評価権限の拡大

採用・育成・定着の推進

1. OJT研修の強化
2. クルー評価制度の見直し
3. クルーポイント制度導入
4. クルーオンライン勉強会の毎月実施

DX推進 ⇒ 生産性向上

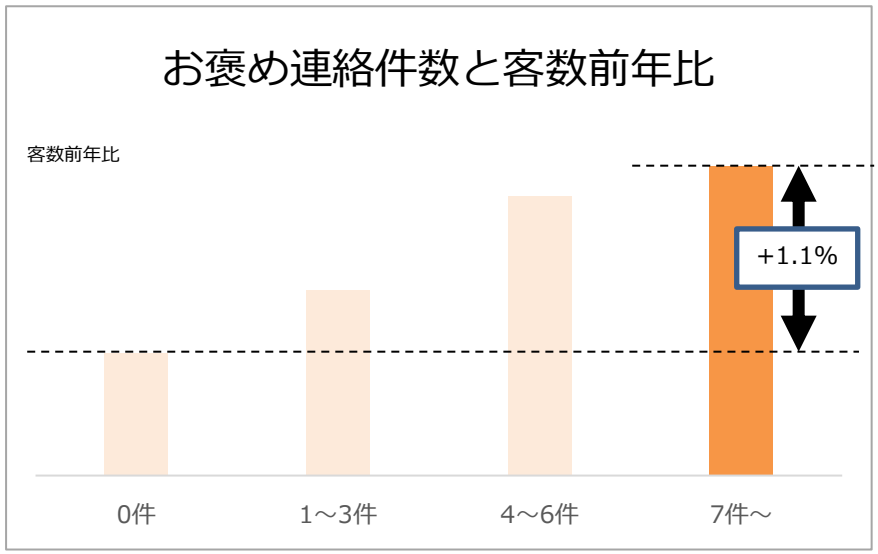
1. CU時間※1の導入
2. スケジュール管理アプリの導入
3. スポットクルー制度※2の導入
4. 商品管理システムの導入
5. セルフレジの導入
6. 店舗PC自動閉店処理
7. 下げテーブル表示板設置

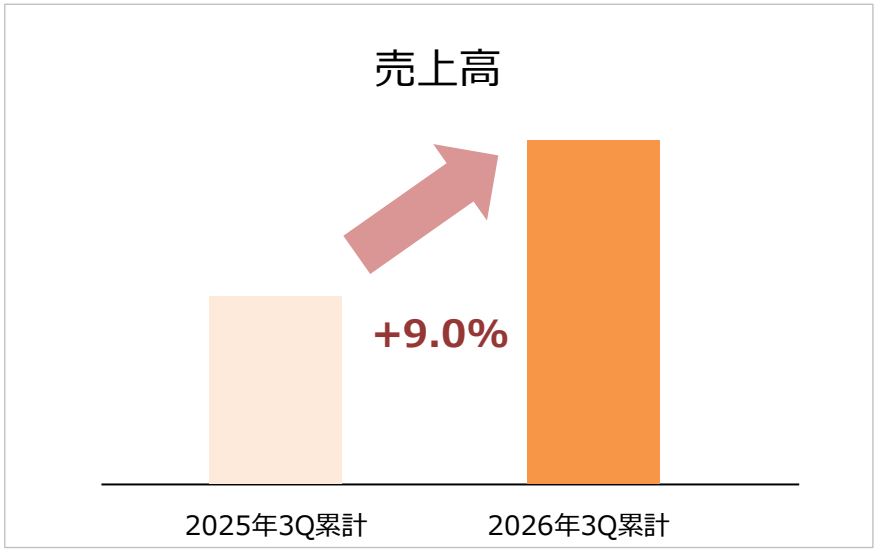
※1 CU時間：「クリーンアップ時間」の略称。退店から次のお客様のご案内可能になるまでの所要時間
※2 スポットクルー制度：当社独自のスキマバイト機能

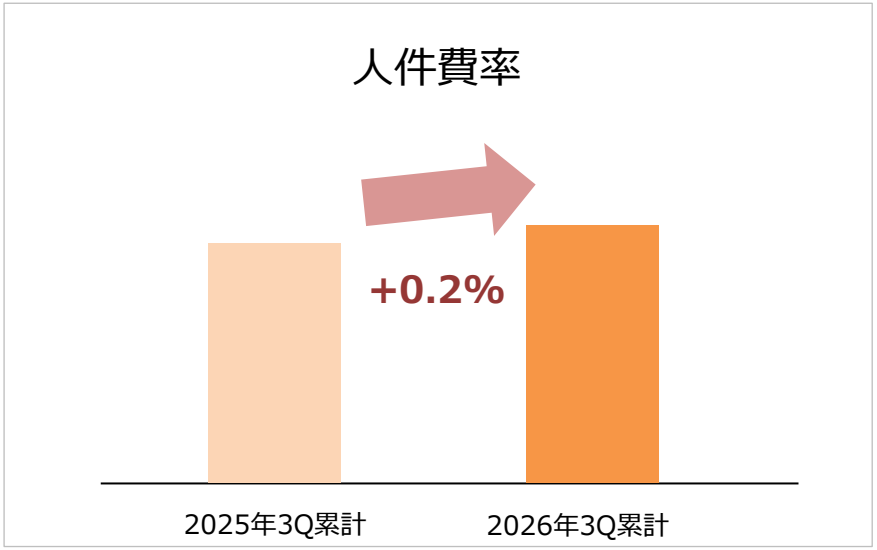
Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

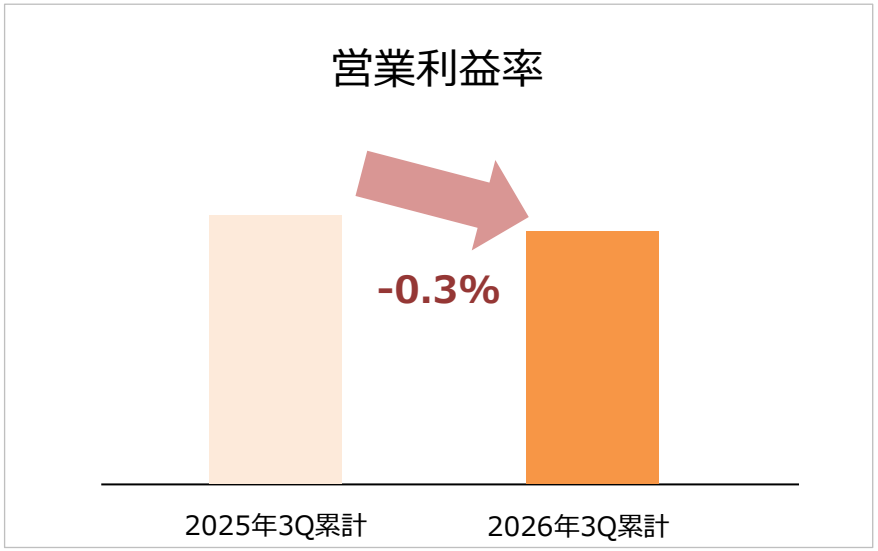
店舗中心経営 効果

・お褒め件数の多い店舗ほど客数前年比が伸長









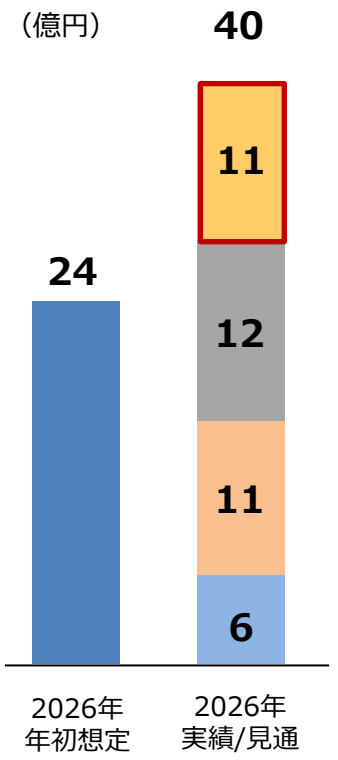
Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

原価低減プロジェクト

・３Q累計で約29億円の原価低減を実現
・通期では40億円の見込み

原価低減プロジェクト	購買改革	・調達規格の緩和、条件変更を伴う価格交渉 ・入札によるお取引先選定 ・大量購買、長期契約
	生産物流改革	・製造作業改善 ・内製拡大・自動化 ・物流効率改善 ・食材モジュールの推進
	コスト最適化	・レシピ、食材見直し ・店舗の食材ロス削減

原価低減対策



Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

インフレ状況（卵、鶏肉）



【卵 相場】

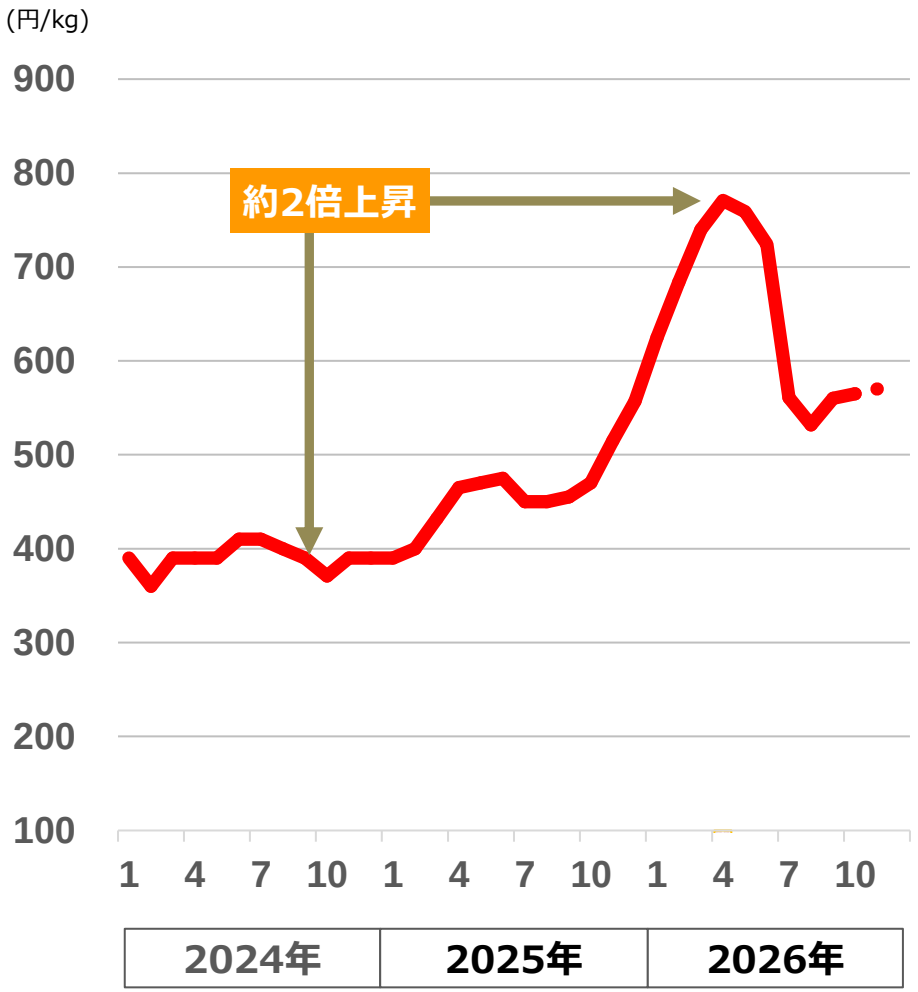
鳥インフルエンザの影響等は一服しピークアウトしたものの、飼料高等の影響で例年価格帯を上回る高値圏が継続



※ 出典：JA全農たまご株式会社

【鶏肉 相場】

- 飼料価格、物流費等の上昇が価格に転嫁
- スペイン産豚肉の輸入停止により鶏肉の需要増加
- 足元ではやや落ち着き500～600円/kg



※ 出典：独立行政法人 農畜産業振興機構 (ALIC)

Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

2026年 店舗開発進捗（業態別）

・グループ総店舗数は3,226店舗へ拡大
・新規出店41店、業態転換42店、改装159店を完了し、計画通り推移

ブランド	新規出店	業態転換		閉店	2026年 9月末店舗数	店舗改装
		(+)	(-)			
ガスト	4	-	▲ 20	▲ 17	1,206	91
バーミヤン	4	-	▲ 1	-	372	23
しゃぶ葉	10	3	-	▲ 1	336	4
夢庵	1	-	▲ 3	▲ 1	171	11
ジョナサン	-	-	▲ 2	▲ 1	154	15
むさしの森珈琲	-	-	-	-	83	-
ステーキガスト	-	-	▲ 5	▲ 1	65	-
Chawan	-	-	-	-	30	-
とんから亭	-	-	▲ 1	▲ 4	23	-
フロプレステージュ	1	-	-	▲ 7	116	2
しんぱち	11	-	-	▲ 2	118	-
資さんうどん	-	27	-	-	121	-
台湾	6	-	-	-	95	3
すき屋	3	-	-	-	20	1
その他	1	12	▲12	▲1	316	9
グループ店舗数	41	42	▲ 44	▲ 35	3,226 2025年末比115	159

*転換には転換準備によるオープン前店舗10店舗を含まず
*月末店舗数には一時閉店中店舗を含む

Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

ESGの推進

項目	活動状況（2026年第3四半期）
脱炭素	・太陽光発電の導入施設を累計1,196施設に拡大 2026年KPI累計900施設に対して超過達成済。 
社会	・令和8年熊本地震で被災された方へ、募金に加え、 ガスト・資さんうどんによる炊き出しを実施。 ・カスハラ対策の義務化への対応として、自社方針を 法改正の趣旨に沿った形へ更新。 
ESG評価	・GPIFが採用する６つのESG指数すべての構成銘柄に国内外食企業で初めて 3年連続選定。 ・MSCI ESG レーティングが、「A」評価から、最高位に次ぐ評価である「AA」に 1段階格上げ。

Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.

免責事項

本資料は、当社グループについての一般的な情報提供を目的としており、当社の発行する株式その他の有価証券への投資の勧誘を目的とするものではありません。

本資料に記載される業界、市場動向または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません。

また、本資料に記載される当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、経済情勢、外食産業の市場動向、消費者の嗜好の変化、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

Copyright © SKYLARK GROUP All rights reserved.